

全国8地域40組のデザイナーによるグラフィックデザインの現在地 「JAGDA Exhibition 2026」

東京ミッドタウン・デザインハブ（東京都港区／構成機関：公益財団法人日本デザイン振興会、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会、多摩美術大学 TUB）は、2026年10月2日（金）から10月25日（日）まで、東京ミッドタウン・デザインハブ第121回企画展「JAGDA Exhibition 2026」を開催します。

かつて大都市を中心に語られていたデザインの仕事は、いま各地へと広がり、さまざまな土地に根ざした表現が育まれています。昨年に続き2回目となる本企画では、全国に3,000人の会員を擁するJAGDA（日本グラフィックデザイン協会）のネットワークを活かし、北海道、東北、関東甲信越、東京、中部、関西、中四国、九州の8地域を牽引する40組による近作を一挙に展示します。地域や領域を越え、多様なかたちで社会と向き合う作品が一堂に会し、その重なりによってデザインの熱を可視化することで、日本のグラフィックデザインの現在地を示したいと考えています。

●開催概要

名称：東京ミッドタウン・デザインハブ第121回企画展「JAGDA Exhibition 2026」

略名：JAGDA Exhibition 2026

会期：2026年10月2日（金）～10月25日（日）

11:00-19:00 会期中無休 入場無料

会場：東京ミッドタウン・デザインハブ

（東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F）

主催：東京ミッドタウン・デザインハブ

運営：公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）

<https://www.jagda.or.jp/>

展覧会ウェブサイト：<https://www.designhub.jp/exhibitions/je2026>

企画：JAGDA展覧会委員会

ロゴデザイン：田部井美奈

会場構成：中原崇志



展覧会ロゴ（デザイン：田部井美奈）



昨年の会場風景

●展覧会ステートメント

デザインの地熱

JAGDAがこの秋、去年につづく2回目のJAGDA Exhibition 2026を開催します。

おのおのの地域にあって、新しい表現をうかがう全国の会員作品が、ことしも東京で一堂に会します。ある意味、日本のグラフィックデザインの‘今’が一望される、スリリングな展示です。

地域への愛と結びながら、人々を置いてきぼりに進む感もある超知能AIの未来と、どう向き合ってゆくのか。世界が変になりかかっているという危うさは、地域において余計敏感に感じとられるのかもしれませんが。それゆえにこそ地域での活動を選びとる作家も数多いと思われます。

今は間違いなく、切実に、社会の新しい描きが求められているとき。なおも人間的であれとはいかなるデザインなのか。愛は熱と近い。ならばその熱さを味方に、おいなる越境へ出発せよと願う。

（コピーライティング：安藤 隆 / (株)サン・アド

●関連イベント

○オープニングトーク 日時：10月2日（金）18:30-19:30 オープニングトーク（終了後レセプション予定）

会場：インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター（デザインハブ内）

詳細・お申し込み：<https://www.designhub.jp/events/je2026op>

お問い合わせ先：公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA） hub@jagda.or.jp

●参加デザイナー

- 【北海道】 足立詩織、三本木千和、西本未祐、野村ソウ、ピチク加藤+パチク坂本
- 【東北】 木村正幸（青森）、山内稜平（岩手）、榎本幸弘（宮城）、吉田勝信（山形）、高木市之助（福島）
- 【関東甲信越】 笹目亮太郎（茨城）、岡芹史子（埼玉）、秋吉 愛（千葉）、小崎直利（神奈川）、角田正之（新潟）
- 【東京】 岡本太玖斗、小玉千陽、齋藤拓実、柴谷麻以、牧 寿次郎
- 【中部】 二上晴君（富山）、中林信晃+安本須美枝（石川）、室谷かおり（福井）、飯田 郁（静岡）、広瀬礼奈（愛知）
- 【関西】 西山拓磨（京都）、玉岡真有美（大阪）、鈴木信輔（大阪）、和田武大（兵庫）、長岡綾子（奈良）
- 【中四国】 大西浩市（島根）、佐藤豪人（岡山）、矢吹菜美（広島）、栞原 朗（山口）、佐藤あすか（徳島）
- 【九州】 矢澤拓隼（長崎）、奥田直辰（熊本）、井下 悠（大分）、河上仁士（宮崎）、サジ トシカツ（沖縄）

●告知ビジュアル

参加デザイナーが地域ごとに8種の告知ビジュアルを制作。作品とともに会場で展示します。



北海道

デザイン：西本未祐



東北

デザイン：吉田勝信



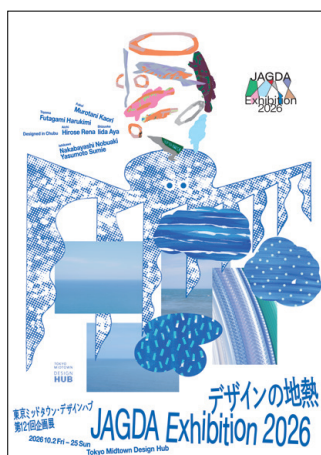
関東甲信越

ビジュアル：秋吉 愛、岡芹史子、小崎直利、
笹目亮太郎、角田正之（デザイン）



東京

デザイン：岡本太玖斗（撮影）、小玉千陽、
齋藤拓実、柴谷麻以、牧 寿次郎
アートワーク：光岡幸一



中部

ビジュアル：飯田 郁、中林信晃+安本須美枝、
広瀬礼奈、二上晴君（デザイン）、室谷かおり



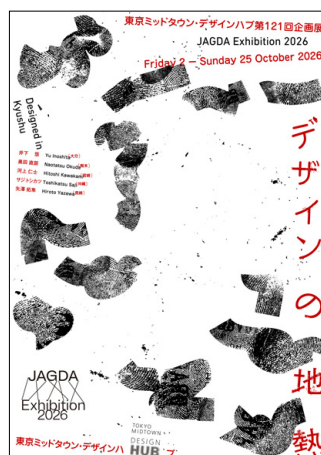
関西

ビジュアル：鈴木信輔、玉岡真有美、
長岡綾子、西山拓磨（デザイン）、和田武大



中四国

アートディレクション：大西浩市（レタッチ）、
栞原 朗、佐藤あすか、佐藤豪人、矢吹菜美（デザイン）
フォトディレクション：関浦通友
フォト：中尾スタジオ



九州

ビジュアル（指紋提供）：井下 悠、奥田直辰、
河上仁士、サジ トシカツ、矢澤拓隼（デザイン）

●JAGDAとは

日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）は、1978年に設立し（初代会長：亀倉雄策）、現在、国内外に会員3,000名を擁するアジア最大級のデザイン団体です（会長：永井一史、副会長：左合ひとみ、服部一成）。年鑑『Graphic Design in Japan』の発行、展覧会やセミナー、地域振興や公共デザイン、デザインの権利保護などの公益事業を全国的に展開するとともに、都道府県や地域ごとの活動も活発に行なっています。